学校番号	１０１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『書Ⅰ』で培った書能力やより多くの古典を臨書し学習することで書の知識や能力をより一層伸長し、能力をいかした様々な形式の作品を制作する。
・幅広い分野の展覧会の鑑賞により、芸術を愛する心情を育成し自身の表現力を向上する。
・書をはじめとしたコンクールや展覧会に出品することにより、書に対する意欲を引き出す。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけて表現している。	・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 ・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期		学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名の書　（漢字の書	仮名の学習 ・淡墨によるひらがな連綿 色紙への表現を学ぶ 漢字の学習 ・五書体について学ぶ ・正式書体と略式書体	c:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 b:平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 c:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。 c:五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持って取り組んでいる。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 a:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法理解し、表現している。 c:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	作品	作品	振り返り 活動の様子
2学期	創作（少字数・小筆）	・漢字1・2文字作品制作 ・作品表具 ・相互鑑賞会（発表） ・自分を褒めてよいところ自分のよい点を自身で発見させ言葉に表す ・自分の良いところを見つけ自分に賞状を書く ・半紙に練習 ・厚紙に清書	a:五書体の特徴を理解している。 b:古典の用筆方法を活かしながら表現している。 b:作品全体のバランスを考えながら表現している。 c:表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。 a:１学期で学習した五書体を参考に、その特徴を活かして自分の言葉で自分の良いところを表現する。（小筆） b: 自分を褒める言葉をきちんと整理しその言葉にあった表現ができている。 c:自分自身を見つめなおし、自分のいいところを考え作品制作に積極的に取り組んでいる。	作品	作品 発表	振り返り　活動の様子　記録用紙

3学期	創作（刻字・漢字かな交じり作品）	・板に転写　刻す ・着色 ・仕上げ ・作品にする詩文を決める ・字を調べる ・作品にする書体や全体の構成を考える ・半紙に練習する ・清書用紙に書く	a:刻字の技法を理解している。 a:文字に応じた構成と配置を理解している。 a:表現に応じた着色を理解している。 b:慎重に作業を進め、細部にわたり芸術的な表現ができている。 c:構成や文字の配置、着色など工夫して丁寧に取り組んでいる。 b:世界の偉人の言葉や名言、心に響く詩を調べ、前向きな気持ちになれるようなものを選ぶ。 b:今まで学習した様々な書体や文字の調和を理解し表現している。 c:工夫しながら最後まで丁寧に取り組んでいる。	作品	作品	振り返り　活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考力・判断力・表現力
c:主体的に取り組む態度